

## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾雅司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長 (氏名) 中川路 豊

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,940	23.4	893	11.4	929	16.6	739	25.7
30年3月期第1四半期	4,004	25.2	802	42.8	796	51.6	588	58.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 740百万円 (7.9%) 30年3月期第1四半期 686百万円 (112.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	72.08	71.99
30年3月期第1四半期	57.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	22,059	14,551	65.8	1,415.10
30年3月期	21,968	14,273	64.8	1,388.08

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 14,516百万円 30年3月期 14,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	45.00	45.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,000	7.8	3,500	6.4	3,600	7.4	2,600	4.1
								254.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	14,000,000 株	30年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	3,741,685 株	30年3月期	3,742,657 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	10,257,335 株	30年3月期1Q	10,222,126 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用環境の改善により堅調に推移し、海外経済も米国を中心に堅調な個人消費や雇用環境に支えられ穏やかな拡大基調となりました。一方で、米中間の貿易を巡る緊張の高まりにより、世界経済は先行き不透明な状況となっています。

このような経済環境のもと、当社グループはこれからも「お客様の望む時に、望むモノを、望む形と望む価格で」お届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」の実現に向けて、グループ一丸となって邁進して参ります。

販売面では、当社グループ製品の主な市場である半導体・液晶製造装置市場、工作機械・産業機械市場、建設機械市場におきまして、昨年に引き続き設備投資の拡大に伴い受注量が堅調に推移し、前年同期の売上高を大幅に上回る結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は49億40百万円（前年同四半期比23.4%増）となり、営業利益は8億93百万円（同11.4%増）、経常利益は9億29百万円（同16.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億39百万円（同25.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下2事業部を報告セグメントとしております。

## (C P事業部)

半導体及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けにクリーンな継手、バルブ、配管ユニット製品等を設計・生産しており、受注が前年を大幅に上回ったため、売上高は29億76百万円（前年同四半期比29.2%増）となり、セグメント利益は9億25百万円（同20.6%増）となりました。

## (G P事業部)

工作機械・産業機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を設計・生産しており、工作機械・産業機械市場における堅調な需要により、売上高は19億68百万円（前年同四半期比25.8%増）となり、セグメント利益は5億21百万円（同10.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し、220億59百万円となりました。これは、売上債権が1億77百万円、たな卸資産が2億8百万円増加した反面、現金及び預金が3億62百万円減少したことなどによるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少し、75億7百万円となりました。これは、未払法人税等が4億33百万円、長期借入金が2億6百万円減少した反面、未払金が1億91百万円、賞与引当金が2億65百万円増加したことなどによるものであります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加し、145億51百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益7億39百万円と配当金支払い4億61百万円により、利益剰余金が2億77百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表した予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,230	4,868
受取手形及び売掛金	4,282	4,586
電子記録債権	2,067	1,942
商品及び製品	394	433
仕掛品	865	973
原材料及び貯蔵品	1,220	1,281
その他	288	283
流動資産合計	14,349	14,369
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,733	1,709
機械装置及び運搬具（純額）	949	1,029
土地	2,211	2,211
建設仮勘定	196	136
その他（純額）	49	55
有形固定資産合計	5,140	5,141
<b>無形固定資産</b>	405	413
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,683	1,682
長期貸付金	8	8
関係会社長期貸付金	0	7
繰延税金資産	328	392
その他	53	43
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,073	2,134
固定資産合計	7,619	7,690
<b>資産合計</b>	<b>21,968</b>	<b>22,059</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,087	1,139
短期借入金	807	807
未払金	644	836
未払法人税等	734	300
賞与引当金	—	265
役員賞与引当金	38	—
その他	246	272
流動負債合計	3,558	3,622
固定負債		
長期借入金	2,287	2,080
退職給付に係る負債	1,386	1,291
長期未払金	233	281
資産除去債務	70	70
長期預り保証金	159	160
固定負債合計	4,137	3,885
負債合計	7,695	7,507
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	635	636
利益剰余金	14,593	14,870
自己株式	△2,964	△2,963
株主資本合計	13,828	14,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349	351
為替換算調整勘定	60	57
その他の包括利益累計額合計	409	408
新株予約権	24	22
非支配株主持分	10	12
純資産合計	14,273	14,551
負債純資産合計	21,968	22,059

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,004	4,940
売上原価	2,697	3,413
売上総利益	1,306	1,526
販売費及び一般管理費	504	633
営業利益	802	893
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	14
為替差益	—	32
複合金融商品評価益	0	—
受取保険金	41	—
その他	3	3
営業外収益合計	55	50
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	0	—
持分法による投資損失	12	6
支払補償費	39	—
その他	6	4
営業外費用合計	61	14
経常利益	796	929
特別利益		
退職給付に係る負債戻入額	—	35
特別利益合計	—	35
税金等調整前四半期純利益	796	964
法人税、住民税及び事業税	284	288
法人税等調整額	△75	△65
法人税等合計	208	222
四半期純利益	588	741
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	588	739

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	588	741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	2
為替換算調整勘定	—	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	97	△1
四半期包括利益	686	740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	738
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P 事業部	G P 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,300	1,563	3,864	139	4,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	2	—	2
計	2,303	1,563	3,867	139	4,006
セグメント利益	767	472	1,239	31	1,270

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,239
「その他」の区分の利益	31
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△465
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	802

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P 事業部	G P 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,947	1,944	4,891	48	4,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	23	53	—	53
計	2,976	1,968	4,944	48	4,993
セグメント利益	925	521	1,447	14	1,461

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,447
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	△6
全社費用(注)	△561
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	893

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。